

**器具器械22 検眼用器具**  
**一般医療機器 両眼視機能検査装置 37071000**  
**両眼視簡易検査器 WOC D7000**

**【禁忌・禁止】**

- ・ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人、医師から眼への強い光の刺激を禁じられている人は、使用または操作する前に医師に相談のうえ使用する。
- ・アース未接続では使用しないこと。
- ・子供だけで使わせたり、自分で操作できない人には使わせない。
- ・機器が故障したときは勝手に修理などせず、販売店又はワック販売株式会社 サービス窓口ご連絡する。
- ・スイッチボタンは爪先や鋭利なものでは押さない。
- ・しばらく使用しなかった後で使用するときは、機器が正常にかつ安全に動作することを確認してから使う。
- ・分解、改造をしない。
- ・機器に故障が発見された場合は、直ちに使用を中止し電源を切る。
- ・体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止する。
- ・機器の設置は適切な方法で行い、機器が落下しないよう安定した場所に設置する。

**【形状・構造及び原理等】**

## 1. 本品構成

- (1) 本体 右図の通り
- (2) 電源ケーブル
- (3) 指標（スライド8枚）
- (4) 本体カバー
- (5) 取扱説明書



## 2. 本体の寸法及び重量

寸法：（幅）466 mm（高）377 mm（奥）280 mm  
 重量：約 9.6 kg

## 3. 電気的定格

電源電圧：AC100V  
 電源周波数：50/60Hz  
 電源入力：25VA

## 4. 指標提示方式：LEDバックライト

点滅、前後移動（-1.0D～+3.0D）

## 5. 原理

指標を背面からの光源を点滅させながら見せることにより散瞳～縮瞳を繰り返し、またレンズを通して見る指標を-1D～+3Dの間を繰り返し前後移動させることにより、毛様体の運動を促す機能を有する。

毛様体の運動を促したあと、指標を取替えることなく操作ボタンを押すだけの簡便な操作で両眼視機能検査が実施できる。

被検者に対し、視差を有する指標（立体写真スライド）を両眼で見せ、そのステレオ効果による立体視感覚に基づき、奥行きを答えさせることで「立体視検査」「眼位検査」を行うことができる。

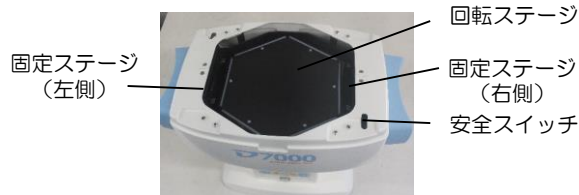
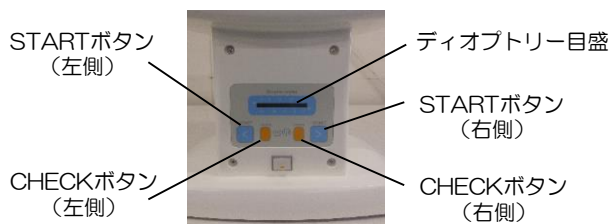
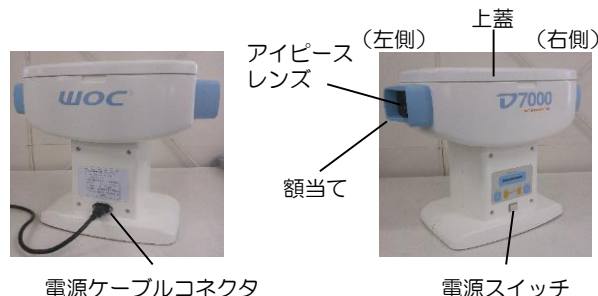
また、左右のレンズから同時または別々に2人の検査ができるように、両側にレンズを設ける構成になっている。

**【使用目的又は効果】**

被検者に対し、仮性近視、斜視の矯正訓練、検査（立体視検査、眼位検査）を行うことを目的とする。

**【使用方法等】**

## 1. 各部の名称



## 2. 本体操作方法

- (1) 電源ケーブルを本体背面の電源ケーブルコネクタに差込み、電源プラグをAC100V電源コンセントに接続されていることを確認ください。
- (2) 電源スイッチを押して電源を投入（ON）してください。最初はスイッチがオレンジ色に点灯しますが、しばらくすると緑色の点灯に変わります。（回転ステージがスタート位置に復帰するまでの間、オレンジ色に点灯（最大約10秒）。この間は、STARTボタン、CHECKボタンを操作しても動作しません。電源スイッチが緑色に点灯した状態で操作が可能になります。
- (3) 訓練モードは、被検者が右側の場合は、右側のSTARTボタンを押すと、訓練モードが開始します。被検者が左側の場合は、左側のSTARTボタンを押して、訓練モードを開始します。訓練モードは、開始してから約5分間被検者がアイピースを覗いてレンズの奥の指標を見続けます。この間、バックライトを点滅させながら、指標が前後動し、雲霧動作を繰り返します。一定時間で6枚の指標が自動で順次チェンジします。約5分間動作し、終了するとチャイムでお知らせし、自動で停止します。

取扱説明書を必ず参照ください

**器具器械22 検眼用器具**  
**一般医療機器 両眼視機能検査装置 37071000**  
**両眼視簡易検査器 WOC D7000**

- (4) 検査モードは、被検者が右側の場合は、右側のCHECKボタンを長押し（2秒間）すると、検査モードが開始します。被検者が左側の場合は、左側のCHECKボタンを押して、検査モードを開始します。右側で眼位検査、左側で立体視検査を行います。検査は、付属のD7000専用記録カードに従って行ってください。  
 検査を開始してから約2分で自動停止します。訓練モード動作中でも、CHECKボタンを2秒間長押しすると検査モードに切り換ります。また、検査中でもSTARTボタンを押すと訓練モードに切り換ります。
- (5) 検査が終了しましたら、電源スイッチを押して電源をOFFしてください。

### 3. 指標の交換方法

- (1) 訓練指標、検査指標を交換する場合は、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
 (2) 本体の前後の凹部に指を引っ掛け、上蓋を引き上げて外してください。



- (3) 訓練指標を交換する場合は、回転ステージの指標装着部に差し込まれている指標ケースの突起部をつまんで引き上げて取り出してください。装着する時は、指標装着部の開口部にしっかり合わせて差し込んでください。指標を本体内部に落とさないように十分気をつけてください。（裏表の区別については、WOCマークが 外に向く方向に差し込んでください。）
- (4) 検査指標を交換する場合は、固定ステージの指標装着部に差し込まれている指標ケースの突起部をつまんで少し引き上げて横にゆっくり引き出してください。装着する時は、指標装着部の開口部にしっかり合わせて奥までしっかり差し込んでください。（裏表の区別については、WOCマークが 上に向く方向に差し込んでください。）
- (5) 指標の交換が終わったら、上蓋を本体の上部に装着してください。

訓練指標の交換



検査指標の交換



### 【使用上の注意】

- 設置上の注意事項
  - 振動、衝撃が加わらず、水平な安定した場所に設置すること。
  - 化学薬品の保管場所付近やガスの発生する場所、水のかかる場所等には設置しないこと。
  - 高温、多湿、埃の多い場所には設置しないこと。
- 使用環境条件
 

下記の条件で使用すること。

  - 温度：10～40℃
  - 湿度：30～75%
  - 有害な煙や埃のない清潔な場所
- 一般医療機器としての使用上の注意事項
  - 取扱者全員が記載された注意事項に精通し、安全な操作を心掛けるよう徹底すること。
  - 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険な状態になる恐れがあるので、十分に注意すること。
  - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人には使用しないこと。
  - 必要時間以上の過度な検査はしないこと。
  - 被検者、機器に異常のないことを常に監視すること。
  - 被検者や機器に異常が発見された場合は、すぐに機器の電源を止め、被検者を安全に介助するなど、適切な処置を講ずること。
- 故障時の注意事項
  - 故障した時は、手をつけず必ず専門修理に任せること。
  - 分解、改造は絶対にしないこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法
  - 水のかからない場所に保管すること。
  - 気圧、温度、湿度、日光、埃、塩分などによる悪影響を生じる恐れのない場所に保管すること。
  - 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、不安定状態に注意すること。
  - 化学薬品の保管場所付近やガスの発生する場所には保管しないこと。
- 保管環境条件
  - 温度：-10～55℃
  - 湿度：10～95%

### 【保守・点検に係る事項】

- 専門修理に定期点検に出すこと。（目安1年毎）  
 ※梱包箱は廃棄せずに、定期点検の輸送用として保管すること。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合は、使用前に正常かつ安全に作動することを確認すること。
- 額当ては、取り外しができ、耐熱温度高いシリコンゴム製なので、汚れた場合は、取り外して水洗い、アルコール、熱水、蒸気での消毒が可能。
- アイピースのレンズが曇っている場合は、清潔なガーゼで軽く清掃する。
- 本体をお手入れする際は、水又は中性洗剤を柔らかい布に含ませて、かたく絞ってからやさしく拭く。
- 本体にはシンナー、ベンジン、アルコール、クリーナーなどは絶対に使用しない。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者  
 日光精器株式会社 滋賀工場  
 〒523-0022滋賀県近江八幡市馬淵町2660  
 TEL(0120) 250-846/FAX(0748)37-2015

取扱説明書を必ず参照ください